ポジション別マニュアル　解説編

2026/9/2 発行
Ver. 601

目的

ＳＳラリーの運営に携わるオフィシャルが、各自の役務の遂行の際に順守すべきことをポジション別に適応される規則も付記して分かりやすくまとめた

想定使用方法

競技会での配置が決まったオフィシャルが、競技会前に各自のやらなくてはならないことを理解する為の解説書

※現場で使用するための簡易版の配布用マニュアルは別に用意済

対象

基本的に該当役務経験者及び経験者の監視下にある初心者・補助員

略号：コード例

・WRSR	WRC Sporting Regulation 2026
・RRR	Regional Rally Sporting Regulation 2026
・APEX_H	International Sporting code APPENDIX H 2026 (H項)
・開規	ラリー競技開催規定 細則スペシャルステージラリー開催規定 2026
・SC	スペシャルステージコマンダー
・DSC	デュプティスペシャルステージコマンダー
・無線感明(感度) ＝メリット (自衛隊基準)	１：雑音の中に、かすかに通話らしいものが聞こえる程度 ２：雑音が多く、話もゆがんで何回も繰り返して話が通じる程度 ３：雑音、ひずみは多少あるが、割合容易に通話ができる ４：雑音は多少残るが、十分明快な通話ができる ５：雑音が全くなく、非常に明快に通話できる
・緊急出動車両 (MIV・TIV・FIV)	医療チームの乗るMIV(Medical Intervention Vehicle)、技術チームの乗るTIV(Technical Intervention Vehicle)、または両機能を統合したFIV(First_ Intervention Vehicle)。
・方向の表記	モータースポーツの通例に則り、競技車の進行方向を基準に表記。 スタートの場合、STOP方向を[前方]、TC方向を[後方]と記載
・国際格式	WRSRもしくはRRRに基づく競技と定義

【Radioの呼称について】

2026/2/25のJMRC全国ラリー振興委員会より推奨事項として**「スタートのラジオをRadio1と呼称し、スタート後、最初のラジオをRadio2と呼称する運用」**が告知された。あくまでも推奨事項で、規則ではなく、各主催者の判断となっている。

ラジオ呼称の誤認は、大きな問題となる可能性が高いので、SCに必ず確認すること。

(ロードブック・セイフティプラン・配置表間で記載が異なるケースもあるので要注意)

【スタートでの赤旗提示に関して】

今年からスタートでの赤旗提示が規則化されたが、ラジオポイントでの赤旗提示と意味合いが異なるので、注意すること。

【開規_29条_15　8）抜粋】

スペシャルステージが中断やキャンセルされるなどして、**タイムトライアルを行わずに通過とする場合、**この事を明確にするため、スタートにて赤旗を提示することとする。

→ WRSR & RRR_53.5.6
→開規_29条_15　8)

【タイムカードの記入に関して】

クルーはタイムカードのクルー使用欄以外記入を行ってはならないことが明記された。

→開規_2条_2.

【時刻の記入形式に関して】

タイムカードに時刻を記入する際、規則上WRCは00:00～23:59、国内とRRRでは00:01～24:00と決められている。9:00は09:00と記載すること

→ WRSR & RRR_APPENDIXⅡ 6.1
→開規_21条_1

※ ご意見、ご要望は右のメールアドレス(QRコード)までお願いします。　kwat@f2.dion.ne.jp

LEG START(TC0など)、REGROUP OUT

＜備品　及び　開設準備＞

- ☐ 主催者の定めた時刻もしくは、遅くとも1号車スタート時刻の30分前までに開設する　→WRSR & RRR 42.4.1 →開規_22条_1.(6)
- ☐ 電波時計　　時刻を確認　→開規_10条_2.
- ☐ TC看板・予告看板・解除看板の設置は「各コントロールの設置について」を参照する　→WRSR & RRR APPENDIX I →開規_別添2
- ☐ 予告看板　　TC看板の約5m前方に　→WRSR & RRR APPENDIX I →開規_別添2
- ☐ タバードの着用、チーフはチーフとわかるタバードを着用　→WRSR & RRR 42.6.2 →開規_22条_3.
- ☐ 無線・携帯　HQ との感度確認
- ☐ タイムカードの記入は公式審判員資格B3級以上の所持者が担当　→開規_10条 1.
- ☐ **スタートリストを事前に入手しておく**
- ☐ **タイムカードを00カー通過前までに入手しておく**
- ☐ 00カー通過後は競技体制を維持　→開規_14条

＜競技中＞

① 事前にスターティングリスト通りに、スタート予定時刻と車番をタイムカードの予定時刻欄に記入

② スタートに競技車が到着し、実スタート時刻が確定したらタイムカードの実スタート時刻欄に記入し、タイムカードを手渡す。

※スタート時刻にはクルー２人と車両が到着している必要がある　→ WRSR & RRR_44.2.3 →開規_25条_3.

③ 記録用紙記入（次ページ参照）

④ スタート時刻になったら、スタートの合図を送る

⑤ 10分以上のリグループ後リエゾンなしにSS・SSSに続く場合は、空気圧調整可(国際格式)　→WRSR 13.8 & RRR 13.10

＜撤収時＞

- ☐ 全競技車が到着、もしくは最終号車の到着予定時刻＋最大遅着時刻＋15分を経過したら撤収できる(競技長から特に指示がない場合)　→ WRSR & RRR_42.4.2 →開規_22条_1.(7)
- ☐ Sweeper通過まで競技体制を維持

＜特記事項＞

★遅着の場合

スタートに遅れた競技車がいた場合、ＨＱに報告し対応は相談する。
15分以上遅れた場合はスタートさせない。(WRCは30分)　→ WRSR & RRR_40.2 →開規_20条 3)

★競技車が来ない場合

競技車が来ない場合は間隔を詰めず、スタートリストのスタート時刻通りに対応すること

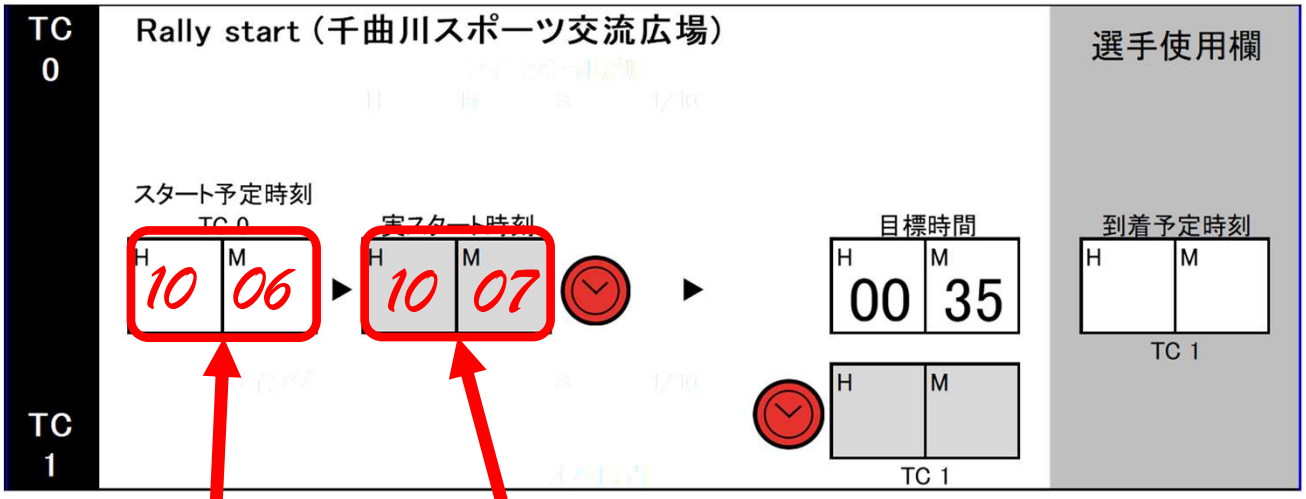
★ダメージのある車両

4つの自由に回転する車輪(ホイールとタイヤの両方が正しく装着されている状態)で走行できない車両・ドライバーの視界を著しく妨げるほどフロントガラスにダメージを負った車両は競技中一切走行させてならない(前者は国際ではロードセクションのみ適応)　→WRSR 34.1.5 34.1.6 & RRR 13.10 →開規_10条 11.

LEG START(TC0など)、REGROUP OUT

タイムカード (TC0の例)

※赤文字部分を記入する



スターティングリストの予定スタート時刻を記入

実際のスタート時刻を記入

エントラントへの告知事項がある場合は、メモ欄として利用する(告知初号車も記録)

記録用紙

※ 数字はダミーです

告知内容:(渋滞状況等)　告知初号車

S=スタート早/遅、P=パルク違反、報=HQへの報告　告知＝渋滞情報等の選手告知

	車番	予定時刻 hour	予定時刻 min	実スタート時刻 hour	実スタート時刻 min	違反(要連絡) S	違反(要連絡) P	違反(要連絡) 報	告知	備考
1	00	09	33	09	33	□(早/遅)	□	□	□	
2	0	09	58	09	58	□(早/遅)	□	□	□	
3	1	10	04	10	04	□(早/遅)	□	□	□	
4	2	10	05	10	05	□(早/遅)	□	□	□	
5	3	10	06	10	07	☑(早/遅)	□	☑	□	10秒遅刻

HQへの報告の忘備録

スターティングリストより転記

反則スタートがあった場合の内容

SS前　TC

＜開設準備＞

- ◘ 主催者の定めた時刻もしくは、遅くとも1号車スタート時刻の30分前までに開設する　→WRSR & RRR 42.4.1 →開規_22条_1.(6)
- ◘ 公式時計の時刻を確認　→開規_9条_2.
- ◘ TC看板の約25m後方に予告看板を設置　→WRSR & RRR APPENDIX I →開規_21条_1.(1) / 別添2
- ◘ タバードの着用、チーフはチーフとわかるタバードを着用　→WRSR & RRR 42.6.2 →開規_22条_3.
- ◘ スタート・SCとの無線感明(感度)確認
- ◘ タイムカードの記入は公式審判員資格B3級以上の所持者が担当　→開規_10条 1.
- ◘ 00カー通過後は競技体制を維持　→開規_14条

＜競技中＞

① ゾーン進入時刻チェック
目標チェックイン時刻の1分以上前のゾーン進入はSC経由HQへ報告　→WRSR & RRR_44.2.8 →開規_25条_7.

② 予告看板・TC間での停車・異常な低速走行は禁止　→WRSR & RRR_44.2.2 →開規_25条_2.

③ チェックインタイム(カードを受取った時刻)をタイムカードに記入　→WRSR & RRR_44.2.5 & 44.3.1 →開規_26条_2.②

④ 遅着早着チェック
目標チェックイン時刻(前TCのスタート時刻＋目標所要時間、前TCがSSを伴う場合は、SSスタート時刻＋目標所要時間)に対して実際のチェックイン時刻を確認、遅着・早着はSC経由HQへ報告　→WRSR & RRR_44.2.6 & 44.2.9 & 44.2.10 →開規_25条_12.
各TCもしくは1日の遅着時間の累計が30分を超過した場合レグ離脱/リタイヤとなる可能性がある。(国際格式では、エントラントへの通告はセクションの終わりでなされる)　→ WRSR & RRR_45.1 & 45.3 →開規_25条_13. & 別添5

⑤ スタート予定時刻の記入
TWZがあり、アイテナリへの記載など別途指示があった場合を除き、チェックインの3分後を記入
※ 同分チェックイン車両のスタート時刻調整は、スタートで行う。　→ WRSR & RRR_44.3.1 & 44.4.4 →開規_26条_2.③

⑥ パルク違反監視(TC予告看板・解除看板間では一切の車両整備禁止)　→WRSR & RRR_63.1.2 →開規_22条_1.(2)
TCからスタート時刻まで13分以上ある場合は、タイヤ圧は調整可(国際格式のみ)　→WRSR 13.8 & RRR 13.10

⑦ 告知事項伝達

⑧ チェックイン手順への違反を目撃した場合、迅速にチーフが文書で競技長へ報告する(国際格式)

⑨ 記録用紙記入(次ページ参照)　→WRSR & RRR_44.2.12

＜撤収時＞

- ◘ 全競技車が到着、もしくは最終号車の到着予定時刻＋最大遅着時刻＋15分を経過したら撤収できる(競技長から特に指示がない場合)　→ WRSR & RRR_42.4.2 →開規_22条_1.(7)
- ◘ Sweeper通過まで競技体制を維持　→ WRSR & RRR_44.4.3 →開規_14条

＜特記事項＞

※ チェックイン時刻には2人のクルーと車両が到着している必要がある　→WRSR & RRR_44.2.3 →開規_25条_3.
但し、ゾーンが競技車で混雑していてゾーンに進入できない場合は、コドラが車両を降りてタイムカードを提出することができる。この場合、当該車両にはパルクフェルメ規制が適用される。

※ TWZがある場合、TWZに入る前にSSと同様の装備を装着しなくてはならない　→WRSR & RRR_44.4.5 →開規_23条_7.

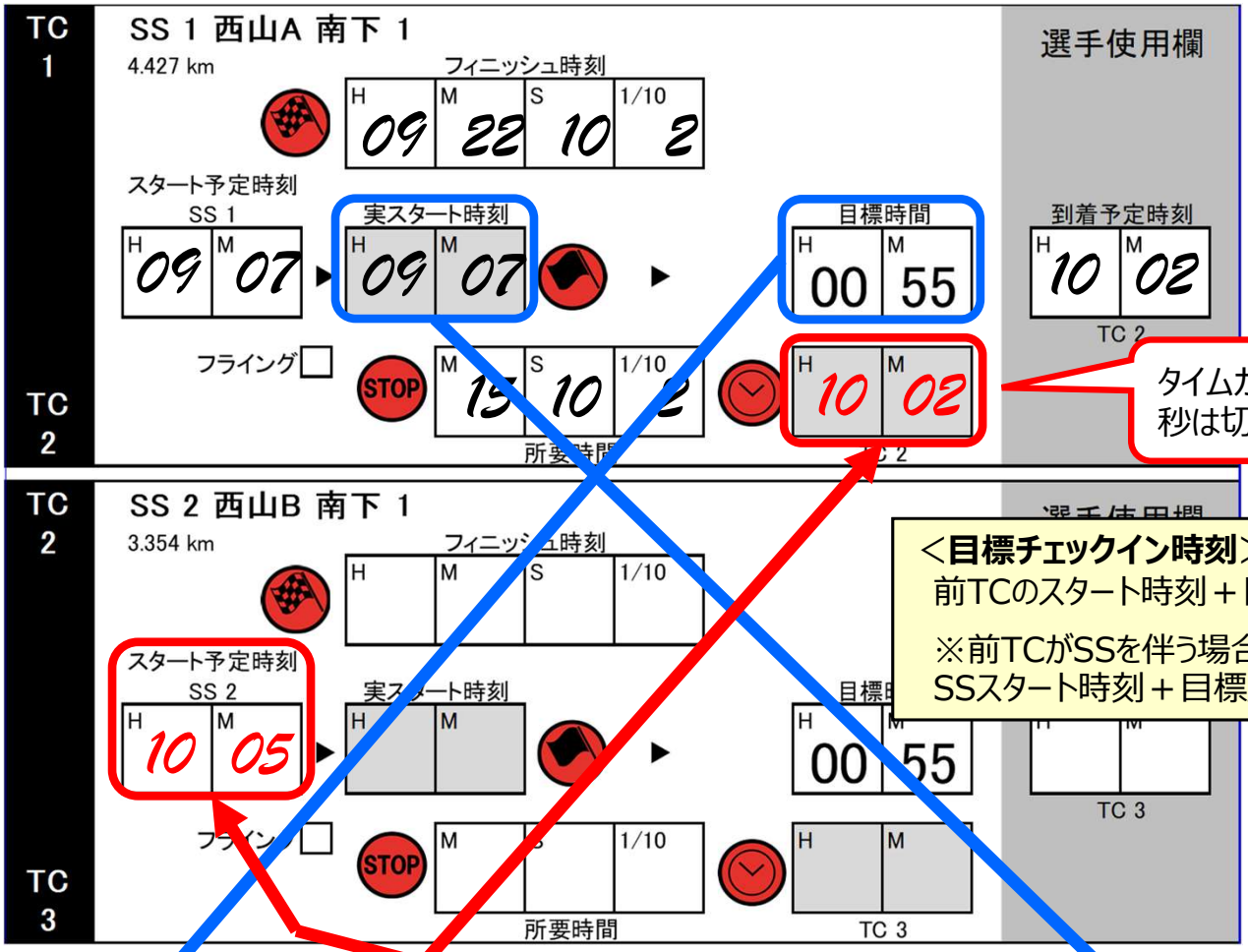
※ TWZ内での意図的な停止・逆走は禁止　→WRSR & RRR_44.4.3 →開規_23条_5.

※ WRCでは、普通の走行で到着する最終車両の到着時刻の10分以上後に到着する車両に対し、競技長がALTルートを走行し、タイムの割付する場合がある　→WRSR & RRR_45.4

※ 前SSでのトラブル等で、多数の競技者が同時にTCインする場合、**正確なチェックイン時刻をタイムカードに記入することが最優先事項となる。**このような場合、TC遅着となる場合もあり、救済される場合もあるので、独自での判断はせず、実時刻を記入し、必要ならCROに連絡する様、エントラントに助言する。HQが救済を決定しているか事前に確認できれば、その旨エントラントに伝達する。

SS前　TC

タイムカード (サンプル)　　※赤文字部分を記入



タイムカード記入時は秒は切捨て

<目標チェックイン時刻>
前TCのスタート時刻＋目標所要時間
※前TCがSSを伴う場合
SSスタート時刻＋目標所要時間

タイムカードより転記(全車同分が記載されている)

タイムカードを受取った時刻(秒については概数)

チェックイン時刻の3分後(秒は切捨) **TWZがある場合は、3分とは限らないので、要確認**
前車と同刻でも構わない

タイムカードから転記
- 前がTCがSSを伴う場合はSSの実スタート時刻
- その他は、前TCのスタート時刻

コントロールゾーン内での整備を行った場合は、チェックを付け、SCへ報告

記録用紙

※ 秒の記入は必要だが、違反等の記録として有用なので、大切

Target time = 55　　A=エリア侵入早　C=チェックイン早/遅、P=パルク違反、報=HQへの報告

	車番	エリア進入時刻 hour	min	sec ※	チェックイン時刻 hour	min	sec ※	予定スタート時刻 hour	min	前TC/SS時刻 hour	min	違反(要連絡) A	C	P	報	備考
1	0	09	29	10	09	30	11	09	33	08	38	□	□(早/遅)	□	□	
2	00	09	54	05	09	55	01	09	58	09	03	□	□(早/遅)	□	□	
3	1	09	58	58	10	00	04	10	03	09	05	☑	□(早/遅)	□	☑	
4	2	10	02	05	10	02	06	10	05	09	06	□	□(早/遅)	□	☑	
5	3	10	02	07	10	02	10	10	05	09	07	□	(早/遅)			

※ 秒の記載は必要ないが、あった方が状況を思い出すのに便利

TC予告看板を通過した時刻(秒については概数)

目標チェックイン時刻の1分前以前にTC予告看板を通過した場合は、チェックを付けSCへ報告

目標チェックイン時刻早着or遅着の場合は、チェックと○を付けSCへ報告

SCへ報告し終えたらチェックをつける

SS Start

<開設準備>

- ◘ 主催者の定めた時刻もしくは、遅くとも1号車スタート時刻の30分前までに開設 →WRSR & RRR 42.4.1 →開規_22条_1.(6).
- ◘ スタートシステム(含むフライングチェッカー・印字装置)の時刻を確認・調整 →開規_9条_2.
- ◘ 確実なスタートラインを設置する(白線を引くなど) →WRSR & RRR 48.2.2
- ◘ フライングチェックの光電センサーはスタートラインの先**50cm**に設置 →WRSR & RRR 48.2.2 →開規_29条_6.2)
- ◘ 無線の感明チェック(対SC・ラジオ・HQ・TC) HQへの連絡手段→ラ開規_細ス_9条_1.(2) 6)・29条_1.
- ◘ TIV・MIV(FIV)はスタートの前方(STOP寄り)に配置
- ◘ 4kg×2本相当の消火器・**赤旗** →APEX_H 5.5.1 a) →開規_9条_1.(2) 6)
- ◘ 約25m前方に解除看板 →WRSR & RRR APPENDIX I →開規_26条_2.①
- ◘ タバードの着用、チーフはチーフとわかるタバードを着用 →WRSR & RRR 42.6.2 →開規_22条_3.
- ◘ タイムカードの記入は公式審判員資格B3級以上の所持者が担当 →開規_10条 1.
- ◘ 00カー通過後は競技体制を維持 →開規_14条

<競技中>

① スタートラインに車の先端を合わせて止める (エンジンがかかった状態で) →開規_29条_5.
前車との間隔が2分以上になる場合、早発しないように注意(車両の前に立つのが効果的)
停止後車両の移動はスタート時刻まで禁止(違反はSCを通して審査委員会へ報告)
国際格式では、誘導棒をスタートライン上に立て、車両を適切な位置に誘導する。車両が所定に
位置についても、スタート1分前までは、誘導棒は撤去しない。 →WRSR & RRR 48.2.4

② スタート時刻決定、カード記入→**記入したらすぐに競技者へカードを返却** →WRSR & RRR 48.2.3 →開規_26条_6. 1)
チェックインタイムから3分以上経過した時刻**(TWZがある場合は延長可→要確認)** →WRSR & RRR 44.4.4 →開規_23条_6.
スタート間隔は、当該レグのスタート間隔と同一(遅着等で長くなる場合はある) →開規_29条_14.
赤旗提示時にスタート間隔を変えて良いというルールはないが、主催者がスタート間隔を変えて
スタートさせる場合もある。SCに確認要(カードに記入する時刻も含め)→次TCが混乱
スタート間隔の変更を競技長が指示する場合があるので要注意 → WRSR & RRR 41.2 →開規_20条_6)

③ エントラントの理由でのスタート時刻変更は禁止
不可抗力が生じた場合は、担当競技役員がスタート時刻を変更できる →開規_29条_7.
競技者起因でスタートが遅れた場合、ペナルティ(1分当たり1分)の対象になるが、
競技者がスタート時刻を遅らせてスタートできる →WRSR & RRR_48.4.1 →開規_29条_8.

④ スタート進行・監視(フライングスタート) →開規_29条_6.5)

⑤ パルク違反監視(TC予告看板・解除看板間では一切の車両整備禁止) →WRSR & RRR_63.1.2 →開規_22条_1.(2)
TCからスタート時刻まで13分以上ある場合は、タイヤ圧は調整可(国際格式のみ) →WRSR 13.8 & RRR 13.10

⑦ 告知事項(コース情報や赤旗提示状況)伝達→何号車から伝達したかSCへ報告

⑧ SS内をタイムトライアルなしで通過する場合、赤旗を提示する。(ラジオの赤旗と違う) →WRSR & RRR_ 53.5.6 →開規_29条_15. 8)

⑨ 安全装備確認と注意(ヘルメットのストラップ・シートベルト・グローブ・FHR・窓) 窓を除く→WRSR 0& RRR_53.1 →開規_26条_3. & 31条_8.&9.

⑩ 記録用紙記入(次ページ参照) ※ FHR(Frontal Head Restraint)=HANSに代表される頭頸部保護装置

<撤収時>

- ◘ 全競技車が到着、もしくは最終号車の到着予定時刻＋最大遅着時刻＋15分を経過したら撤収できる(競技長から特に指示がない場合) → WRSR & RRR_42.4.2 →開規_21条_1.(7)
- ◘ Sweeper通過まで競技体制を維持、但しSweeperがSTOPに到着までは、SSは競技中なので、緊急車両・トラッキング等は、競技体制を継続する。 →開規_13条

<特記事項>

※ スタート手順は、特別規則書で確認する → WRSR & RRR_48.2.1 →開規_29条_6.2)～4)
※ 電光表示を使用しても、30秒前はコールする(国際格式は不要) →開規_29条_6.2)～4)
※ マニュアル時は、30秒前,15秒前,10秒前,5,4,3,2,1とカウントダウン → WRSR & RRR_48.3 →開規_29条_6.2)
※ グラベルスタートでスタート位置が掘られて支障がある場合の対応方法をSCと打ち合わせておく
規則上の決まりはないが、スタート位置の変更、停止位置の変更等の可能性あり
※ FHRは推奨(全日本では必須)だが、装備している場合は確実にセットさせる
※ 20秒以上経過してもスタートできない車両は離脱となり安全な場所へ移動させる →WRSR & RRR_48.4.3 →開規_25条_5.
※ フライングスタートは、SCへ報告すると共に、全日本ではSTOPへ連絡しエントラントへ通告
※ 中断後スタート再開の際、スルーとかキャンセルなどの誤解されやすい表現ではなく、どのような扱いなのか
指示する事(競技走行/赤旗でのタイムトライアルなしの走行/アイテナリからSS削除/ALTルート有無)
※ WRCでは、最終競技車の次Mid通過後Sweeperをスタートさせる。(緊急車両の走行を想定)

SS Start

タイムカード (サンプル)　　※赤文字部分を記入

TC 1 — SS 1 西山A 南下 1

4.427 km

フィニッシュ時刻: H 09 M 22 S 10 1/10 2

スタート予定時刻 SS 1: H 09 M 07 ▶ 実スタート時刻: H 09 M 07 ▶

目標時間: H 00 M 55

到着予定時刻 TC 2: H 10 M 02

フライング ☐　STOP　M 15 S 10 1/10 2 (所要時間)　H 10 M 02 (TC 2)

選手使用欄

TC 2 — SS 2 西山B 南下 1

3.354 km

フィニッシュ時刻: H M S 1/10

スタート予定時刻 SS 2: H 10 M 05 ▶ 実スタート時刻: H 10 M 06 ▶

目標時間: H 00 M 55

到着予定時刻 TC 3: H M

フライング ☐　STOP　M S 1/10 (所要時間)　H M (TC 3)

選手使用欄

実際のスタート時刻を記入
TC到着時刻(チェックイン時刻)から3分以上**(TWZがある場合は、3分とは限らないので、要確認)**経過していること。
※スタート予定時刻を見ても良いが、TCが計算ミスをしている場合もあるので、TC到着時刻を確認する

タイムカードより転記

エントラントへの告知事項がある場合は、メモ欄として利用する(告知初号車も記録)

記録用紙

告知内容:(路面、ヤ状況等)　告知号車:

※グレイの部分はできる範囲の記入で良い

W:窓, B:ベルト, S:顎紐, G:手袋, H:HANS, 報:山長への報告, 連:STOPへの連絡

	車番	予定Start	実Start	driver※ W B S G H	co-dra※ W B S H	反則スタート 報	反則スタート 連	備考	告知
1	0	09:33	09:33	☑☑☐☐☐	☑☑☐☐	☑	☑	フライング0.5秒	☐
2	00	09:58	09:58	☑☑☑☑☑	☑☑☑☑	☐	☐		☐
3	1	10:03	10:03	☑☑☑☑☑	☑☑☑☑	☐	☐		☐
4	2	10:05	10:05	☑☑☑☑☑	☑☑☑☑	☐	☐		☐
5	3	10:05	10:06	☑☑☑☑☑	☑☑☑☑	☐	☐		☐

安全装備関係チェックの備忘録(推奨)

SCへの報告、STOPへの連絡の忘備録

反則スタートがあった場合の内容(詳細)

告知したかの忘備録

SS FLYING FINISH (FF)

＜開設準備＞

- ◻ 主催者の定めた時刻もしくは、遅くとも1号車到着時刻の30分前までに開設 →WRSR & RRR 42.4.1 →開規_22条_1.(6)
- ◻ オフィシャルの安全を確保できる場所を確保
- ◻ 公式時計の時刻を確認 →開規_9条_2.
- ◻ 計時システムの作動確認(含む印字装置) →開規_9条_2.
- ◻ 無線の感明チェック(対STOP)
- ◻ 約100m後方(Start寄り)に予告看板設置 →WRSR & RRR APPENDIX I →開規_別添2
- ◻ 計測点に白線等を引く
- ◻ タバードの着用 →WRSR & RRR 42.6.2 →開規_21条_3.
- ◻ メインとサブは別々の人間が測定
  ルールにはないが、測定できないリスクを最小化するため
- ◻ 00カー通過後は競技体制を維持 →開規_14条
- ◻ 光電センサー・反射鏡等の計時機器は、競技車との接触や風雨の影響を考慮した位置に設置する

＜競技中＞

① 測定した時刻(メイン・サブ共) を記録用紙に記入
② 可能なら車番を記録する→不明の場合はSTOPに問い合わせる
③ 記録した時刻(トラブルのない限りメイン)をSTOPへ連絡
④ パルク違反の監視(FF予告看板・解除看板間では一切の車両整備禁止) →WRSR & RRR 63.1.2 →開規_22条_1.(2)
⑤ FF予告→STOP間(停車禁止)の停車の監視 →WRSR_49.1 →開規_26条_9.
⑥ 記録用紙記入(次ページ参照)

＜撤収時＞

- ◻ 全競技車が到着、もしくは最終号車の到着予定時刻＋最大遅着時刻＋15分を経過したら撤収できる(競技長から特に指示がない場合) → WRSR & RRR_42.4.2 →開規_21条_1.(7)
- ◻ Sweeper通過まで競技体制を維持 →開規_14条

＜特記事項＞

※計時を1/10秒まで記録するか、特別規則書で確認する(国際格式は1/10秒) →WRSR & RRR 47.1 →開規_26条_2. →WRSR 47.1
※WRCのパワーステージでは1/1000秒まで計時する
※時刻を丸める際は切り捨て →開規_26条_10.
※FF→STOPの時刻の伝達方法は、色々な方法があるので、STOPと事前に確認する
※メイン計時システムの時刻がSTOPでしか見られない装置がある。2度切れするなどのトラブルに対して、対応方法を事前に取り決める(サブの計時時刻を無線で連絡するなど)
※計時機器(特にSEIKO製プリンティングタイマーのトリガーケーブル)と無線機(どのタイプでも)のアンテナが近いと、電波による障害で計時機器が誤動作します。
少なくとも50cm、できれば1m以上の距離をとること

SS FLYING FINISH (FF)

主計時システムのフィニッシュ時刻
1/10秒で計時する場合は、STOPへは1/100秒を切り捨てて伝える

副計時システム(バックアップ用)の時刻を記入する

記録用紙

1. 主・ テムとも、1/100秒まで記録し、STOPへは**切捨て1/10 を連絡**する
2. 予告 降で違反事項(停車・追越・後進など)は無線連絡後備考欄 してください
3. 車番 なかった場合は、STOPに確認して記入してください。

	車番	F time(主システム) hour	min	sec	1/10 1/100	FF time(副システ hour	min	sec	1/10 1/100	備考(違反内容等) ↓違反報告
1	0	0	58	43	72	09	58	4	69	☐
2	00	10	14	18	21	10	14	1	17	☐
3	1	10	19	13	92	10	19	13	89	☐
4	2	10	20	12	83	10	20	12	80	☐
5	3	10	21	14	28	10	21	14	25	☐

※ 切捨てされたことがわかるように1/100秒まで記録するようにしてあります

パルク違反・停車/追越等の際に内容をメモをする
SCに報告したら✓をつける

SS STOP

＜開設準備＞

- ◘ 主催者の定めた時刻もしくは、遅くとも1号車到着時刻の30分前までに開設 →WRSR & RRR 42.4.1
- ◘ 無線の感明チェック(対SC・ラジオ・HQ・FF) →開規_22条_1.(6)
- ◘ HQとの連絡手段の確認
- ◘ 4kg×2本相当の消火器 →開規_9条_1.(2) 7)
- ◘ 約25m前方に解除看板設置 →APEX_H 5.5.1 c) →開規_9条_1.(2) 7) →WRSR & RRR APPENDIX I
- ◘ ラジオトラッキングとFFからの無線受信には各々専任配置が望ましい。 →開規_別添2
  STOPがいち早く行方不明車両の存在を認識することは、有事の際の安全性に影響大
- ◘ タバードの着用、チーフはチーフとわかるタバードを着用 →WRSR & RRR 42.6.2
- ◘ タイムカードの記入は公式審判員資格B3級以上の所持者が担当 →開規_22条_3.
- ◘ 00カー通過後は競技体制を維持 →開規_10条 1.

→開規_14条

＜競技中＞

① FFから通過時刻を受信、記録用紙に記入
② タイムカードにFF通過時刻・所要時間を記入
③ スタートから反則スタートの連絡があった場合は、エントラントに告知する。(全日本のみ)
所要時間は、実際のスタート時刻から計算する。 →WRSR & RRR_48.6
④ 行方不明車情報の聞き取り(SOS/OK、コース状況、三停板、概略距離、左右) →開規_26条_6.5)
⑤ 暫定結果表への記入(主催者の要請があり、余裕がある場合)
⑥ パルク違反の監視(FF予告看板・解除看板間では一切の車両整備禁止) →WRSR & RRR 63.1.2
⑦ FIA指定のタイヤ供給者の代表はSTOPゾーンに入り、タイヤの目視検査と温度測定が許される →開規_22条_1.(2)
(国際格式のみ) →WRSR 13.10 & RRR 13.13
⑧ FF予告→STOP間の停車の監視 →WRSR_49.1
⑨ 記録用紙記入(次ページ参照) →開規_26条_9.
⑩ SS走行に義務付けられた装備が製造者が指定する正しい方法で着用され、サイドウインドウが閉じた状態でSTOPに到着したか確認する(国際格式にはサイドウインドウの規定なし) →WRSR 0& RRR_53.1
⑪ FF通過時刻がすぐにわからない場合は、タイムカードにサインし、リグループで記入してもらう →開規_29条_3. →開規_29条_11.

＜撤収時＞

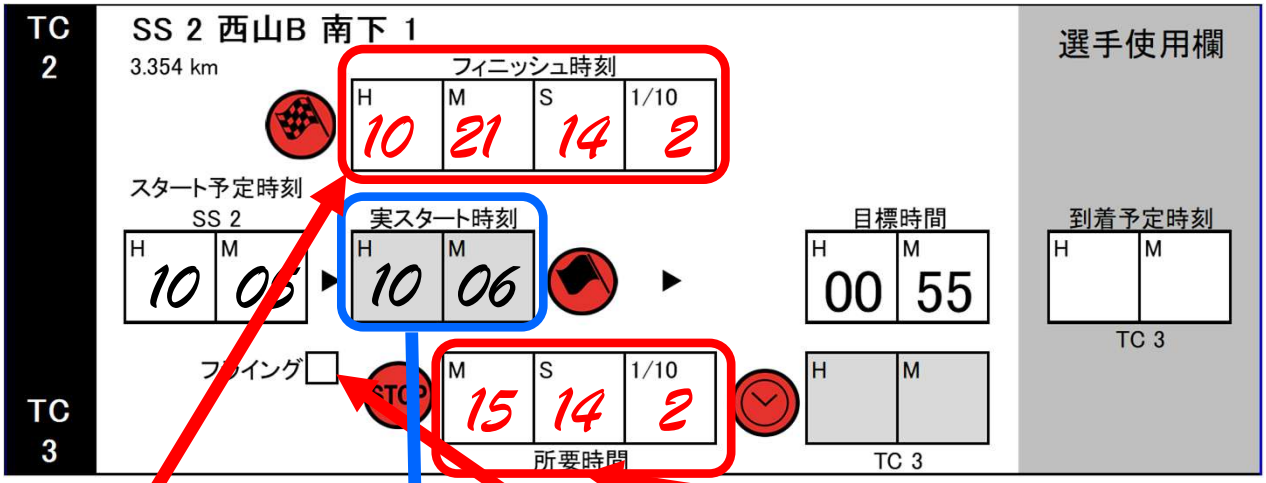
- ◘ 全競技車が到着、もしくは最終号車の到着予定時刻＋最大遅着時刻＋15分を経過したら撤収できる(競技長から特に指示がない場合) → WRSR & RRR_42.4.2 →開規_22条_1.(7)
- ◘ Sweeper通過まで競技体制を維持 →開規_14条

＜特記事項＞

※計時を1/10秒まで記録するか、特別規則書で確認する(国際格式は1/10秒) →WRSR & RRR 47.1
※WRCのパワーステージでは1/1000秒まで計時する →開規_29条_2. →WRSR_49.2
※FFの通過時刻を聞く担当は、時刻の書き取りを最優先する
※有事の際、チーフもしくはDSCが行方不明車両の聞き取りに集中できる様、役務配分を考える
※FF→STOPの時刻の伝達方法は、色々な方法があるので、FFと事前に確認する
※2度切れするなどのトラブルに対して、対応方法を事前にFFと取り決める
(無線で連絡するなど)
※トラッキング担当は、未着車両(行方不明車)がでたり、ステージ内で追越があった場合、SC/DSCに報告する。
※著しいダメージのある車両→競技結果に重大に差を生じるので、HQの指示を仰ぐのが良い
開規_33条 10.より抜粋**→2026/1/27改定で、クルーの厳守事項となった**
競技中著しく車体、保安部品または排気系統を破損した参加車両は走行してはならない。かつ、競技車両は４つの自由に回転する車輪（ホイールとタイヤの両方が正しく装着されている状態）でのみ走行でき、ドライバーの視界を著しく妨げるほどフロントガラスにダメージを負った車両は、競技中**一切**の走行をしてはならない。(前者は国際ではロードセクションのみ適応) →WRSR 34.1.5 34.1.6 & RRR 13.10 →開規_33条 10.

SS STOP

タイムカード (サンプル)　　※赤文字部分を記入



FFから入手した
フィニッシュ時刻

タイムカード
より転記

所要時間を
フィニッシュ時刻－スタート時刻
で計算

記録用紙

	車番	フィニッシュ時刻 hour	min	sec	1/10	スタート時刻 hour	min	所要時間 min	sec	1/10	備考 ↓反則スタート告知
1	0	09	58	43	7	09	33	25	43	7	□
2	00	10	14	18	9	09	58	16	18	2	□
3	1	10	19	13	9	10	03	16	1[illegible]	9	□
4	2	10	20	12	8	10	05	15	12	8	□
5	3	10	21	14	2	10	06	15	14	2	□

スタートから反則スタートの連絡が来た場合、告知したかの忘備録
タイムカードのフライング欄に✓を入れる

不明車捜索用　聞き取り調査票

調査対象		地点	時刻
号車：9	最後のTracking point	Start	10:12
車種：VAB	未着のTracking point	Radio 2	

後続競技車からの聞き取り　　※ D=Driver, C=Co-Driver

車番	D or C ※	時刻	見たか	OK/SOS	通過可否	三停板	目撃地点(XXより○○kmなど)	左側/右側
10	ドラ	10:30	見た	歩いていた	可能	?	Radio 2の先　左コーナー	右
11	コドラ	10:31	↓	OKあり	↓	設置中	Radio 2の先500mくらい	↓
12	ドラ	10:32	↓	↓	↓	あり	↓	↓

後続車に聞くべき項目の確認とメモに利用する

RADIO

＜開設準備＞

- ◘ 主催者の定めた時刻もしくは、遅くとも1号車到着時刻の30分前までに開設（規則にはない）
- ◘ オフィシャルの安全を確保できる場所を確保
- ◘ 故障車両等が退避してくる可能性を考慮して、配置を考える
- ◘ 無線の感明チェック(他の全Radio or 中継との感明)
- ◘ 3kg以上の消火器 →開規_9条_1.(2)_5)
- ◘ 約100m後方(Start寄)に予告看板設置、「各コントロールの設置について」参照 →WRSR & RRR APPENDIX I →開規_別添2
- ◘ 赤旗の準備 →開規_9条_1.(2)_5)
- ◘ 安全かつエントラントから見えやすい赤旗掲示位置を決めておく
- ◘ 赤旗掲示位置にラジオ看板を設置する・予告看板もコースの同じ側に設置
- ◘ 通過車番を見る人と無線対応/記録係は別の方が良い
  車両通過中に無線対応をする場合など一人で確実にこなすのは難しい
  赤旗提示で一人が車外で旗を提示する場合の分担も事前に決めておく →WRSR & RRR 53.5.2
- ◘ タバードの着用(赤旗担当はラジオのタバードが必須) →開規_21条_3.
- ◘ 夜間は競技車を幻惑しないように注意
- ◘ 00カー通過後は競技体制を維持 →開規_13条
- ◘ トラッキングのやり方は、中継の有無・SSの距離などで色々なやり方があるので、事前にコマンダーと打ち合わせておく

＜競技中＞

① トラッキングの推奨は別紙「トラッキング」を参照
② 00からSWPのSTOP到着までトラッキングする。
③ 記録用紙に記入し、行方不明車の有無をチェックする(「トラッキング」参照)
④ 競技車が事故車両について報告に来る場合がある。報告内容をメモし、コマンダーに即、報告する(トラッキングより優先)。コマンダーの許可を得てから報告車をSTOPへ向かわせる。 →開規_29条_16_8)①
⑤ 競技長から赤旗提示指示の際は、車外で旗を出す(別途指示なき場合静止掲示) →WRSR & RRR 53.5.2
→旗の掲示開始時刻と最初に見た車両を記録しSCに報告 →開規_26条_14_1)
→赤旗提示中であっても、トラッキングは継続する。
(新たな不明車確認や逆走時の安全確保の為)

＜撤収時＞ →開規_14条

- ◘ Sweeper通過まで競技体制を維持

＜特記事項＞

無線使用時の注意

- 無線の内容は必要最低限の内容とする
- PTTボタンを押しても、すぐに送信できない。ワンテンポ置いて(0.5秒位)から話始める
- 発信者・受信者がわかるようにする。仲間内しかわからない呼び方は慎む
  【×】「住民の方が通行したいと言っています。どうしましょうか？」
  →発信者及び送信先がわからない
  【◎】「封鎖1からコマンダーどうぞ」
  「こちらコマンダー　封鎖1どうぞ」
  「住民の方が通行したいと言っています。通して良いですか？」
- 簡潔に話す　話始める前に言う内容を考えておく、誤解しやすい表現はしない
- 返信を求めない場合　「一方的に送ります」or「○○より送り込み」で始める
- 返信を求める場合　「どうぞ/送れ」で終わる
- 会話を終了する場合　「以上/おわり」で終わる
- 緊急対応 「ブレイク」と聞こえたら、必ず「ブレイクさんどうぞ」と言い回線を譲ること

00-Car 確認チェックリスト(参考)

STAGE NO.	1.3	STAGE NAME	道上

		無線の状況	OFFICIAL
TC	□看板　□タバード　□時刻		人
START	□看板　□消火器　□ライン　□時刻 □タバード　□配置　□動作		人
	スタート時刻　　時　　分		

	Km	番号	左右	POST	SOS	MEDIA	観客	OFFICIAL
POST	0.37	2	R	M1	タバード　看板　赤旗　消火器			人
	0.83	2A	L	CL	タバード　看板　赤旗　消火器			人
	0.98	2B	R	CL	タバード　看板　赤旗　消火器			人
	1.97	3	L	R2&M2	タバード　看板　赤旗　消火器			人
	3.14	4	L	R3&M3	タバード　看板　赤旗　消火器			人
	3.34	4A	R	テープ	タバード　看板　赤旗　消火器			人
	3.52	4B	R	テープ	タバード　看板　赤旗　消火器			人
	4.39	4C	L	テープ	タバード　看板　赤旗　消火器			人
	5.91	4D	R	テープ	タバード　看板　赤旗　消火器			人
	6.16	4E	L	テープ	タバード　看板　赤旗　消火器			人
	6.29	4F	L&R	CL	タバード　看板　赤旗　消火器			人
					タバード　看板　赤旗　消火器			人
					タバード　看板　赤旗　消火器			人
					タバード　看板　赤旗　消火器			人
					タバード　看板　赤旗　消火器			人
					タバード　看板　赤旗　消火器			人
					タバード　看板　赤旗　消火器			人
					タバード　看板　赤旗　消火器			人
					タバード　看板　赤旗　消火器			人
					タバード　看板　赤旗　消火器			人

		計時時刻	OFFICIAL
FF	□看板 □計測点 □タバード □計時時刻		人

		無線の状況	OFFICIAL
STOP	□看板 □消火器　□タバード □計時時刻		人

ステージ セットアップ 確認	時　　分	00-Car	ステージ責任者	競技長

TRACKING

TRACKINGをすることは規則 APEX_H 5.5.4.5 ラ開規_細ス_9条 1.(2) 4) で定められているが、やり方については定められていない。ここでは推奨する方法を記載するが、SCの指示の下、状況に応じてやり方は変えても構わない
※ RADIO、 SSのスタート、STOPの無線担当、HQ管制含む

<トラッキングのポイント>

① トラッキングのやり方や状況は様々な違いがあるので、00・0カーを利用して、トラッキング練習をすることを強く推奨する(特に当該チームの最初のSS)
② 通過車番を抜けなく報告すること→次ページの記録方法参照
(どうしても車番がわからない時は、車種・色などの特徴を記録)
③ 無線の内容は必要最低限の内容以外話さない
※ 無線のPPTボタンを押し、一息入れて話し始める
④ 行方不明車捜索など優先度の高い通信がある場合は、記録は続けるが無線発報は一時停止する場合もある ※ 赤旗提示中であっても、トラッキングは継続する(一時停止可)
(新たな不明車確認や逆走時の安全確保の為)
⑤ Start・STOPのトラッキング担当は、未着車両(行方不明車)がでた場合、SC・DSCに報する。

<通常時>

毎分0秒にスタートから順番に通過車番を無線で報告する

<例> Start : 「16分 5号車スタート」
Radio 2 : 「Radio 2 通過なし」
Radio 3 : 「Radio 3 3号車・4号車通過」
Radio 4 : 「Radio 4 通過なし」
STOP : 「STOP 通過なし」

<中継>

無線状況により中継が入る場合

<例> Start : 「16分 5号車スタート」
中継 : 「スタート 16分 5号車 Radio 2 どうぞ」
Radio 2 : 「Radio 2 通過なし」
中継 : 「Radio 2 通過なし Radio 3 どうぞ」
Radio 3 : 「Radio 3 3号車・4号車通過」
中継 : 「Radio 3 3号車・4号車通過 Radio 4 どうぞ」
Radio 4 : 「Radio 4 1号車通過」
中継 : 「Radio 4 1号車通過 STOP どうぞ」
STOP : 「STOP 通過なし」
中継 : 「STOP 通過なし、以上」

<緊急時等で中断された場合>

緊急時の通信等で、トラッキングができなかった場合には、２分(３分)分をまとめてトラッキングする場合あり

<例> Start : 「17分 14号車 18分 15号車スタート」
Radio 2 : 「Radio 2 10号車・11号車通過」
Radio 3 : 「Radio 3 5号車・6号車」
Radio 4 : 「Radio 4 1号車通過」
STOP : 「STOP 通過なし」
※ ラジオは２分以上纏めての報告でOK

<特記事項>

★ スタートラジオラジオはスタートする車両か無い場合も行う（忘れがち）
★ Sweeper通過後は起点をスタートから変更する場合もある
★ 自ポストをSweeperが通過しても、SweeperがSTOPに到達するまでは、SS内で競技は継続されているので、トラッキングと緊急連絡以外で無線を使用しない
★ 携帯電話回線を利用した通信は、キャラリー等の回線利用が増えると、**通信途絶する合がある**ので注意が必要（中継局の通信キャパを超えた場合の輻輳という現象）

TRACKING

記録用紙

報告時刻	Radio1	Radio 2	Radio 3	Radio 4	~~Radio 5~~ STOP	備考
10:03	□ 1	□ -	□ -	□ -	□ -	
10:04	□ -	□ -	□ -			
10:05	□ 2	□ -	□ -			
10:06	□ 3	□ -	□ -			
10:07	□ 4	□ 1	□ -			
10:08	□ 5	□ -	□ -			
10:09	□ 6	□ 2	□ -			
10:10	□ 7	□ -	□ -			
10:11	□ 8	□ 3 4	□ -			
10:12	□ 9	□ 5	✓ 1		□ -	
10:13	□ 10	□ 6	□ -		□ -	
10:14	□ 11	□ 7	✓ 2	□ -	□ -	
10:15	□ 12	□ 8	□ -	□ -	□ -	
10:16	□ 13	□ -	✓ 4 3	□ -	□ -	
10:17	□ 14	□ 10	✓ 5	□ -	□ -	
10:18	□ 15	□ 11	✓ 6	□ 1	□ -	
10:19	□ 16	□ 12	✓ 7	□ -	□ -	
:	□	□	□ 8	□	□	
:	□		□	□	□	

【10:16のトラッキング内容】
スタート：「16分13号車スタート」
Radio 2 ：「Radio 2、通過なし」
Radio 3 ：「Radio 3、4号車・3号車通過」
Radio 4 ：「Radio 4、通過なし」
STOP ：「STOP、到着なし」
※ 10:16 02秒ぐらいにスタートが無線を入れ、各ラジオポイントが続いて無線を入れていく。10:16のトラッキングでは、10:15で報告した車両の後通過した車両を報告する。よって、10:16分台に通過した車両をトラッキングするわけではない。トラッキング中に通過した車両は、報告漏れがなければ、次分のトラッキングでの報告で問題ない。

３号車が４号車に追い抜かれた

９号車がRadio2に到着していない→Radio2の見落としかもしれないので、注意して通過を確認する

10:19のTracking後に通過した車番を次の行にメモしておく

10:20のTrackingの際、自分の順番で「Radio 3、８号車通過」と報告し、□に✓をつける

TC(Service周り)

＜開設準備＞

- ◘ 主催者の定めた時刻もしくは、遅くとも1号車スタート時刻の30分前までに開設する →WRSR & RRR 42.4.1 →開規_22条_1.(6)
- ◘ 公式時計の時刻を確認 →開規_10条_2.
- ◘ TC看板・予告看板・解除看板の設置は「各コントロールの設置について」を参照 →開規_別添2
- ◘ タバードの着用、チーフはチーフとわかるタバードを着用 →WRSR & RRR 42.6.2 →開規_22条_3.
- ◘ HQとの無線感明(感度)確認
- ◘ タイムカードの記入は公式審判員資格B3級以上の所持者が担当 →開規_10条 1.
- ◘ 00カー通過後は競技体制を維持 →開規_14条

＜競技中＞

① ゾーン進入時刻チェック
目標チェックイン時刻の1分以上前のゾーン進入はHQへ報告 →WRSR & RRR_44.2.8 →開規_25条_7.

② チェックインタイム(カードを受取った時刻)をタイムカードに記入 →WRSR & RRR_44.2.5 & 44.3.1 →開規_26条_2.②

③ 遅着早着チェック
目標チェックイン時刻(前TCのスタート時刻＋目標所要時間、前TCがSSを伴う場合は、SSスタート時刻＋目標所要時間)に対して実際のチェックイン時刻を確認、遅着・早着はHQへ報告
→WRSR & RRR_44.2.6 & 44.2.9 & 44.2.10 →開規_25条_12.
各TCもしくは1日の遅着時間の累計が30分を超過した場合レグ離脱/リタイヤとなる可能性がある。(国際格式では、エントラントへの通告はセクションの終わりでなされる) → WRSR & RRR_45.1 & 45.3 →開規_25条_13. &ラ開規_別添5

④ パルク違反監視(TC予告看板・解除看板間では一切の車両整備禁止) →WRSR & RRR_63.1.2 →開規_22条_1.(2)

⑤ チェックイン手順への違反を目撃した場合、迅速にチーフが文書で競技長へ報告する(国際格式)
→WRSR & RRR_44.2.12

⑥ 記録用紙記入(次ページ参照)

＜撤収時＞

- ◘ 全競技車が到着、もしくは最終号車の到着予定時刻＋最大遅着時刻＋15分を経過したら撤収できる(競技長から特に指示がない場合) → WRSR & RRR_42.4.2 →開規_22条_1.(7)
- ◘ Sweeper通過まで競技体制を維持 →開規_13条

＜特記事項＞

※チェックイン時刻には2人のクルーと車両が到着している必要がある →WRSR & RRR_44.2.3 →開規_25条_3.
但し、ゾーンが競技車で混雑していてゾーンに進入できない場合は、コドラが車両を降りてタイムカードを提出することができる。この場合、当該車両にはパルクフェルメ規制が適用される。

※特別規則書・公式通知により、早着のペナルティをとらない場合もある。
その場合、実チェックイン時刻を記入する。(2022年までは、規則上は目標チェックイン時刻をタイムカードに記入することになっていた) →開規_25条_10.

TC(Service周り)

※赤文字部分を記入

タイムカード (サンプル SSの次のTC4Aの例)

TC 4 — SS 4 西山B 南下 2

3.354 km

フィニッシュ時刻: H 09 M 41 S 10 1/10 2

スタート予定時刻 SS 4: H 09 M 25

実スタート時刻: H 09 M 26

目標時間: H 00 M 35

到着予定時刻 TC 4A: H 10 M 02

フライング ☐ STOP

所要時間: M 15 S 10 1/10 2

TC 4A: H 10 M 02

＜目標チェックイン時刻＞
前TCのスタート時刻＋目標所要時間
※前TCがSSを伴う場合
SSスタート時刻＋目標所要時間

タイムカード記入時は秒は切捨て

タイムカードより転記(全車同分が記載されている)

タイムカードを受取った時刻、秒は切捨(秒については概数)

タイムカードから転記
- 前がTCがSSを伴う場合はSSの実スタート時刻
- その他は、前TCのスタート時刻

記録用紙

※ 数字はダミーです

秒の記入は不要だが、違反等の記録として有用なので、大体で良いので記入を推奨する。

Target time = 35　　A=ｴﾘｱ侵入早、C=ﾁｪｯｸｲ早/遅、P=ﾊﾟﾙｸ違反、報=HQへの報告

	車番	エリア進入時刻 hour	min	sec ※	チェックイン時刻 hour	min	sec ※	前TC/SS発時刻 hour	min	違反(要連絡) A	C	P	報
1	00	09	29	10	09	30	11	08	55	☐	☐(早/遅)	☐	☐
2	0	09	54	05	09	55	01	09	20	☐	☐(早/遅)	☐	☐
3	1	09	58	58	10	00	04	09	25	☑	☐(早/遅)	☐	☑
4	2	10	02	05	10	02	06	09	26	☐	☑(早/遅)	☐	☑
5	3	10	02	07	10	02	10	09	27	☐	☐(早/遅)	☐	☐

コントロールゾーン内での整備を行った場合は、チェックを付け、SCへ報告

SCへ報告し終えたらチェックをつける

TC予告看板を通過した時刻(秒については概数)

目標チェックイン時刻の1分前以前にTC予告看板を通過した場合は、チェックを付けSCへ報告

目標チェックイン時刻早着or遅着の場合は、チェックと〇を付けSCへ報告

※ゾーン進入時刻とチェックイン時刻の秒の記載は必要ないが、あった方が問い合わせ時に状況を思い出すのに便利

REGROUP IN TC

<開設準備>

- ◘ 主催者の定めた時刻もしくは、遅くとも1号車スタート時刻の30分前までに開設する →WRSR & RRR 42.4.1 →開規_22条_1.(6)
- ◘ 公式時計の時刻を確認 →開規_10条_2.
- ◘ TC看板・予告看板・解除看板の設置は「各コントロールの設置について」を参照する →WRSR & RRR APPENDIX I →開規_別添2
- ◘ タバードの着用、チーフはチーフとわかるタバードを着用 →WRSR & RRR 42.6.2 →開規_22条_3.
- ◘ HQとの無線感明(感度)確認
- ◘ タイムカードの記入は公式審判員資格B3級以上の所持者が担当 →開規_10条 1.
- ◘ 00カー通過後は競技体制を維持 →開規_14条
- ◘ Regroup OUT 時刻の決定方法・リタイヤ車両情報の入手方法は、競技長と事前に確認する
- ◘ タイムカードの回収・次セクションのタイムカードの配布場所は、競技長・計時委員長と事前に確認する。Regroup IN で回収・配布すると、TCの作業が単純化でき、ミスを防止できるので推奨する

<競技中>

① ゾーン進入時刻チェック
目標チェックイン時刻の1分以上前のゾーン進入はHQへ報告 →WRSR & RRR_44.2.8 開規_25条_7.

② チェックインタイム(カードを受取った時刻)をタイムカードに記入 →WRSR & RRR_44.2.5 →開規_26条_2.②

③ 時刻記入済みのタイムカードはエントラントの確認後回収する

④ 遅着早着チェック
目標チェックイン時刻(前TCのスタート時刻＋目標所要時間、前TCがSSを伴う場合は、SSスタート時刻＋目標所要時間)に対して実際のチェックイン時刻を確認、遅着・早着はHQへ報告
→WRSR & RRR_44.2.6 & 44.2.9 & 44.2.10 →開規_25条_12.

各TCもしくは1日の遅着時間の累計が30分を超過した場合レグ離脱/リタイヤとなる可能性がある。(国際格式では、エントラントへの通告はセクションの終わりでなされる) →WRSR & →ラ開規_細ス_25条_13. & RRR_45.1 & 45.3 →開規_別添5

⑤ パルク違反監視(TC予告看板・解除看板間では一切の車両整備禁止) →WRSR & RRR_63.1.2 →開規_22条_1.(2)

⑥ チェックイン手順への違反を目撃した場合、迅速にチーフが文書で競技長へ報告する(国際格式) →WRSR & RRR_44.2.12

⑦ Regroup OUTの時刻を指示する。(フレキシサービス前のRegroupの場合は、Regroup OUT時刻は、許された範囲内でエントラントが決定する) リタイア情報がわかった時点で、次セクション用のタイムカードに車番とスタート予定時刻を記入しておき、チェックイン時に渡す方法を推奨する。次セクションのタイムカードをRegroup OUTで渡す場合もあるので、やり方は主催者と確認しておくこと →WRSR & RRR_46.1.1 →開規_27条_3.

⑧ 記録用紙記入(次ページ参照)

<撤収時>

- ◘ 全競技車が到着、もしくは最終号車の到着予定時刻＋最大遅着時刻＋15分を経過したら撤収できる(競技長から特に指示がない場合) → WRSR & RRR_42.4.2 →開規_22条_1.(7)
- ◘ Sweeper通過まで競技体制を維持 →開規_13条

<特記事項>

※チェックイン時刻には2人のクルーと車両が到着している必要がある →WRSR & RRR_44.2.3 →開規_25条_3.
但し、ゾーンが競技車で混雑していてゾーンに進入できない場合は、コドラが車両を降りてタイムカードを提出することができる。この場合、当該車両にはパルクフェルメ規制が適用される。

※特別規則書・公式通知により、早着のペナルティをとらない場合もある。
その場合でも、実チェックイン時刻を記入する。(2022年までは、規則上は目標チェックイン時刻をタイムカードに記入することになっていた。) →開規_25条_10.

※リグープエリアに駐車後、クルーが退去しなくてはならない規則は、2025/2/18の公示でなくなりました

REGROUP IN TC

※赤文字部分を記入

タイムカード (サンプル TCの次のTC4Bの例)

TC 4A　フライング☐　STOP　M 15　S 10　1/10 2　所要時間　H 9　M 17　TC 4A

TC 4A　Service in　選手使用欄

目標時間　H 00　M 45

到着予定時刻　H 10　M 02　TC 4B

TC 4B　Service out/Regroup in　H 10　M 03　TC 4B

＜目標チェックイン時刻＞
前TCのスタート時刻＋目標所要時間
※前TCがSSを伴う場合
SSスタート時刻＋目標所要時間

タイムカード記入時は秒は切捨て

タイムカードより転記(全車同分が記載されている)

タイムカードを受取った時刻、秒は切捨(秒については概数)

タイムカードから転記
- 前がTCがSSを伴う場合はSSの実スタート時刻
- その他は、前TCのスタート時刻

コントロールゾーン内での整備を行った場合は、チェックを付け、HQへ報告

記録用紙

※ 数字はダミーです

※ 秒の記入は不要だが、違反等の記録として有用なので、大体で良いので記入を推奨する。

Target time = 45　　A=エリア侵入早、C=チェックイン早／遅、P=パルク違反、報=HQへの報告

	車番	エリア進入時刻 hour	min	sec ※	チェックイン時刻 hour	min	sec ※	リグループアウト時刻 hour	min	前TC/SS発時刻 hour	min	違反(要連絡) A	C	P	報	備考
1	00	09	29	10	09	30	11	09	45	07	45	☐	☐(早/遅)	☐	☐	
2	0	09	54	05	09	55	01	10	10	09	10	☐	☐(早/遅)	☐	☐	
3	1	09	58	58	10	00	04	10	15	09	16	☑	☐(早/遅)	☐	☑	
4	2	10	03	05	10	03	06	10	16	09	17	☐	☑(早/遅)	☐	☑	
5	3	10	03	07	10	03	10	10	17	09	18	☐	☐(早/遅)	☐		

TC予告看板を通過した時刻(秒については概数)

目標チェックイン時刻の1分前以前にTC予告看板を通過した場合は、チェックを付けHQへ報告

HQへ報告し終えたらチェックをつける

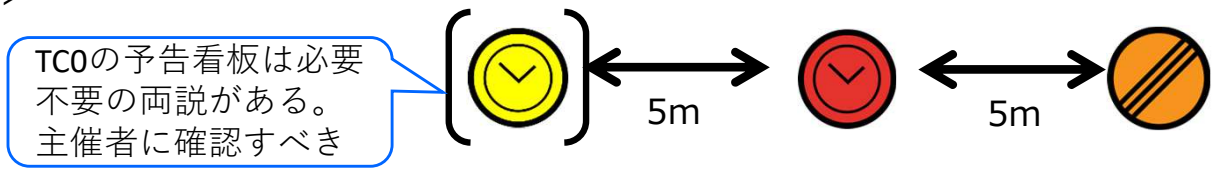
目標チェックイン時刻早着or遅着の場合は、チェックと○を付けHQへ報告

※ゾーン進入時刻とチェックイン時刻の秒の記載は必要ないが、あった方が問い合わせ時に状況を思い出すのに便利

各コントロールの設置について

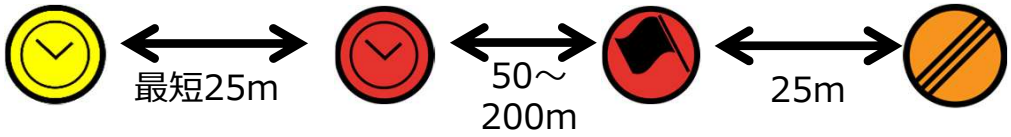
※ 距離についてはでき得る限り、遵守すること。(国内のみ) →ラ開規_細ス_別添2

<TC0>



<SS前のTC→Start>

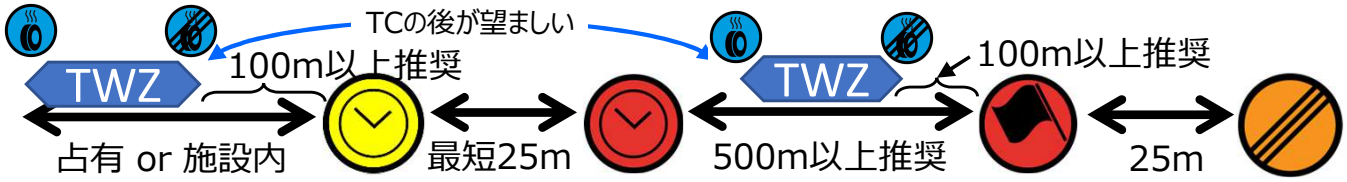
緊急車両は、スタートの前方のスタートから見え、最長でも150m以内の場所で待機する
→APEX_H 5.5.1 a)【日本語版は誤訳あり】



WRSR & RRRでTWZ(Tyre Warming Zone)を設置する場合 →WRSR & RRR 44.4

※TWZの始まりと終わりに看板を設置 →WRSR & RRR 44.4.3 ※ 看板のデザインは、WRSR & RRR APPENDIX I

国内競技規則に則りTWZ(Tyre Warming Zone)を設置する場合 →ラ開規_細ス_22条



<SSのFF→STOP>

※ FF・STOP間は、RRR/WRCRでは少なくとも200mとWRSR & RRR_49.1に記載されているが、 WRSR & RRR APPENDIX I では100～300m

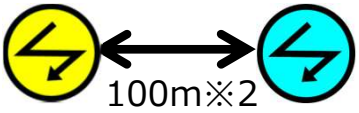
<Service前後TC>

<Regroup>※

<最終パルクフェルメ前TC>※

※ 諸規則には明確な説明がないので、多くの主催者が採用している方式を記述した

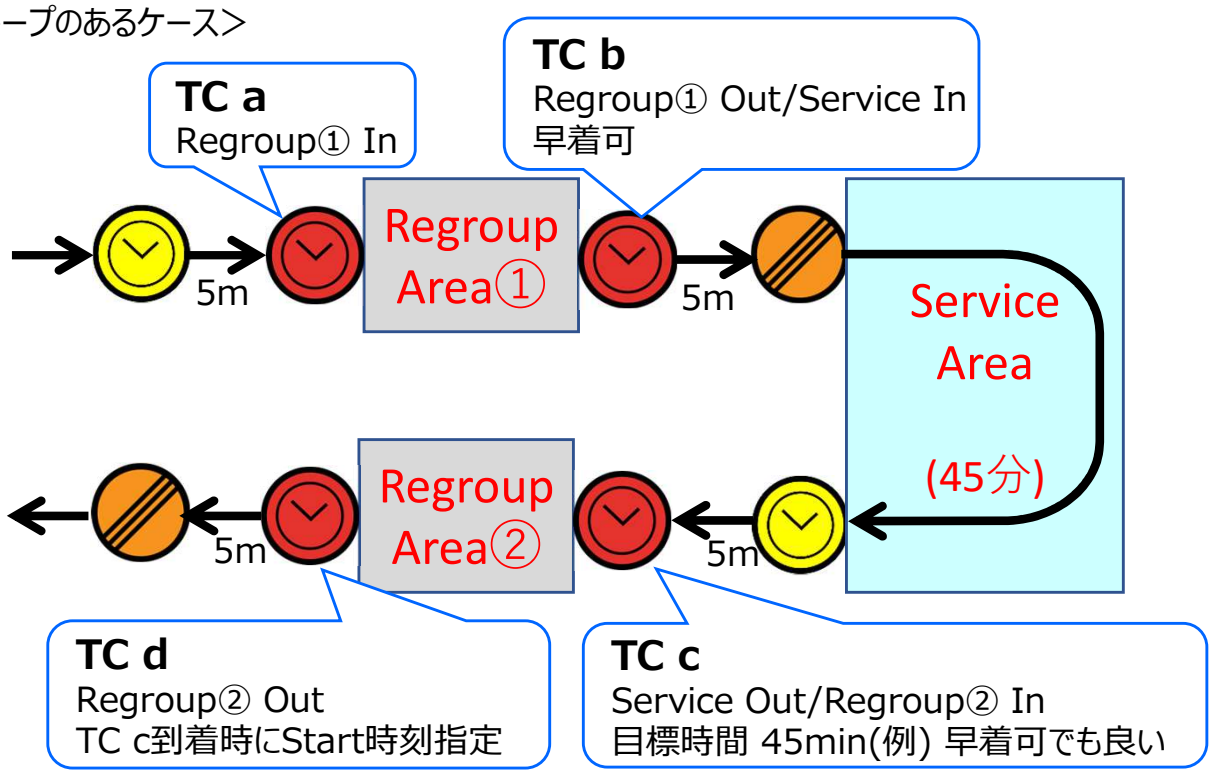
ラジオポイント設置について



※2 APEX_H 5.5.4.4では、100～200mと記載されているが、WRSR & RRR APPENDIX I 、開規_別添2には100mと記載されている。後者が一般的に採用されている。

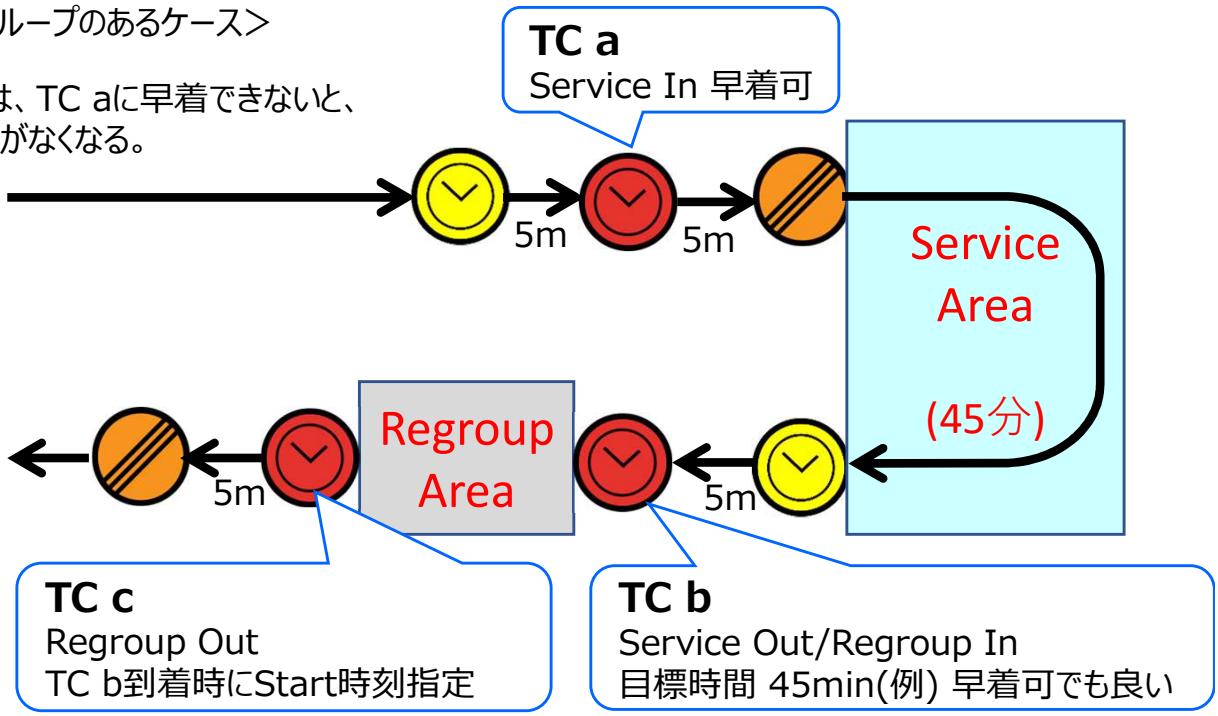
フレキシサービスでのTC配置の例

<サービス前後にリグループのあるケース>

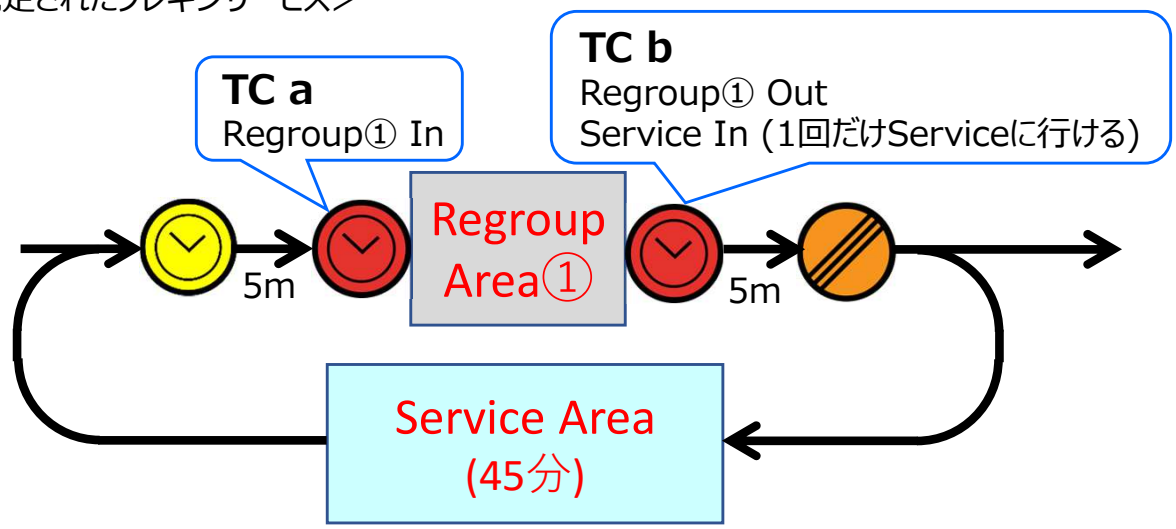


<サービス後だけにリグループのあるケース>

※ このケースは、TC aに早着できないと、
フレキシビリティがなくなる。



<RRR・WRSRで規定されたフレキシサービス>



ALTERNATIVE ROUTE（ALT)

ALTERNATIVE ROUTE(オルタネートルート:迂回ルート　以下ALT)については、規則に詳しく記載されていない。愛知でのWRC(Rally Japan)の開催において、ALTが適応されることが増え、WRCでの運用方法が一般的に知られるようになってきた。

1. WRCでの運用を通じて下記の事を学んだ
   ① ALT使用の際は、スタート時刻をタイムカードに記入し、指定されたターゲットタイムで移動する。
   ② ALTのスタートも、スタートリストの順番・間隔とする。
   ③ ターゲットタイムを適切に設定することにより、次SSのスタートタイム・スタート順を管理できる。
   ④ スムーズに運用するためには、 ALT発動時に離合できるルート設定が必要

2. ALTの分類
   ① ALTのスタート位置での分類
      - SS Startからスタート
      - TCからスタート
        →TCでは通常のチェックインも行うため、SS Startから応援が必要

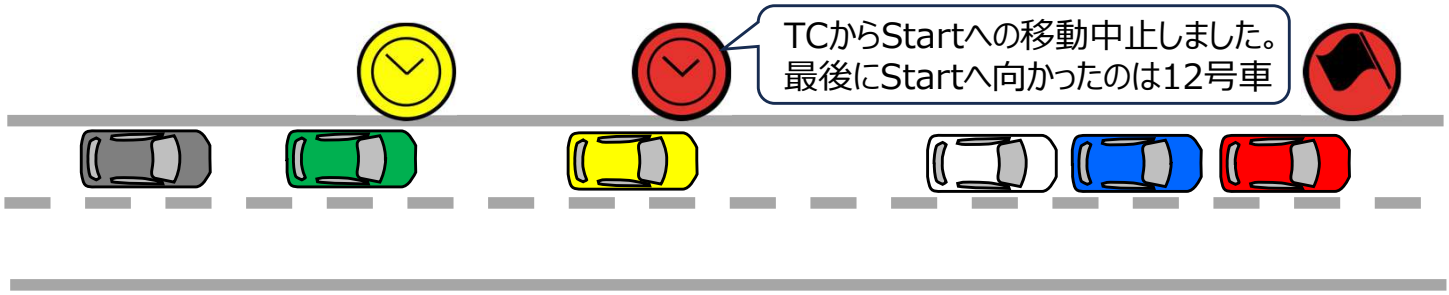
   ② ルートの性格での分類
      - SS Startからコース内を走行後分岐
      - SS StartとTCの間で分岐
      - TCでUターン

   ③ その他
      - Uターンできる場所
        →SS Startには、MIV/TIV等の待機スペースがあるのでUターンに活用できる
      - Uターンする場合、離合できる幅員があるか
      - TWZの有無

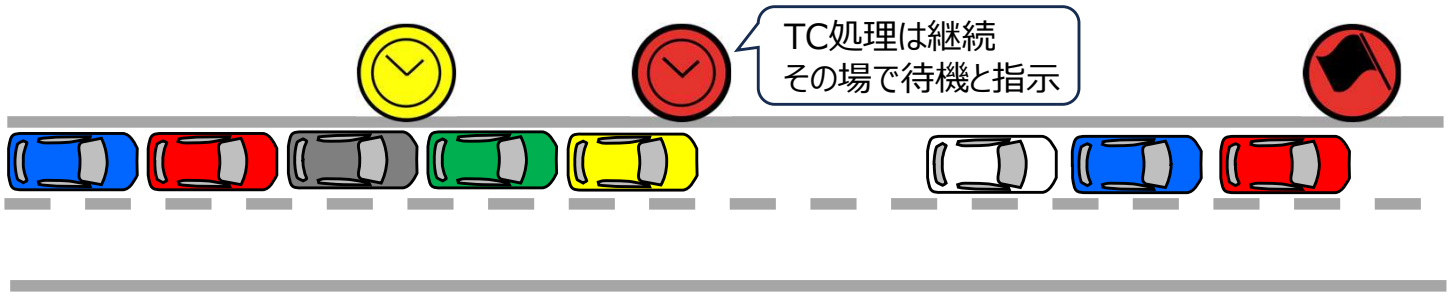
3. 次ページ以降の基本形(TCでUターンし、TCでスタート時刻を記入する場合)を基に、実際に運用されるコースに合わせ、運用の方法を事前に検討し、CMD・Start・TCで共有することを強く推奨します。

ALT(基本)

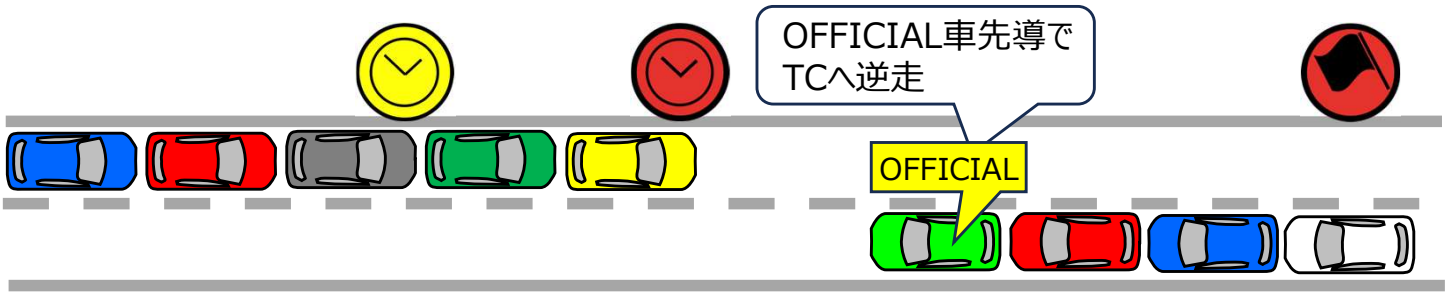
① Startを中断したらコマンダは、TCから先への競技車の移動禁止をTCに指示する。着順にTCを先頭に列ができ始める。TCは移動を禁止した事とStartへ向かった最終車両をStartへ連絡する



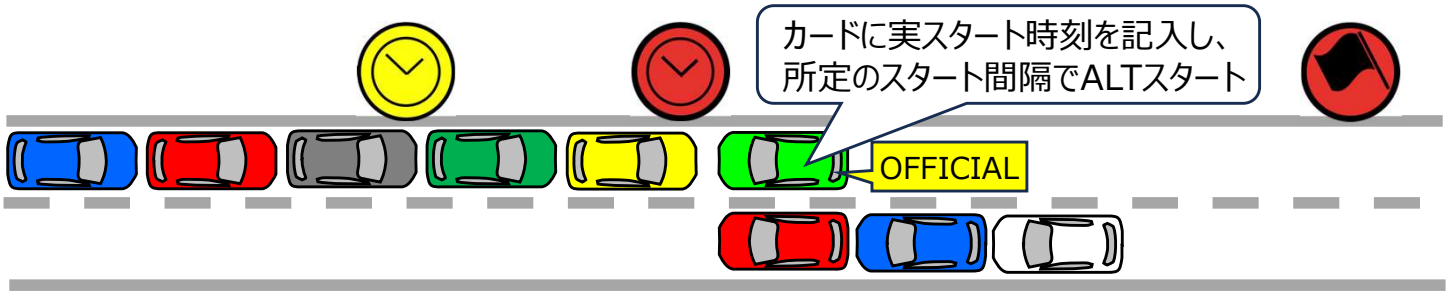
② TCは、チェックインするクルーに対し、チェックイン処理をし、実スタート時刻は決まり次第TCで指示するので、その場で待機するよう通告する。カードはクルーが記入を確認後TCで保管。



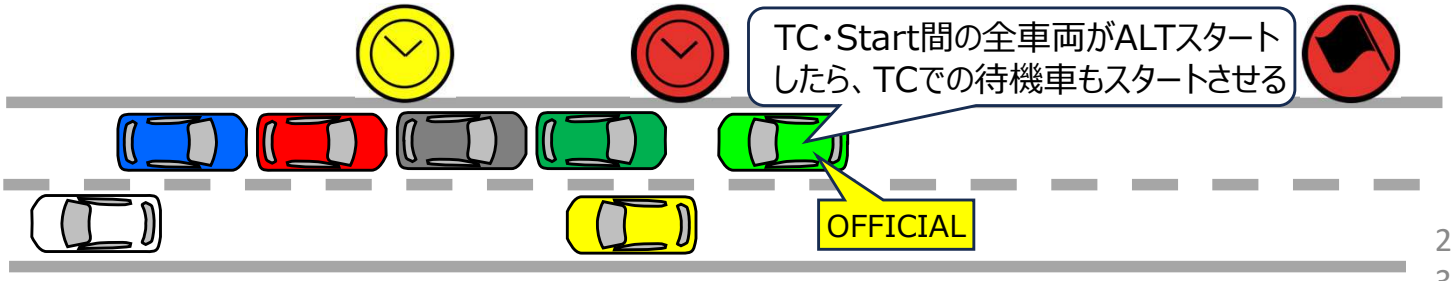
③ ALTが決まったら、Startは待機車両に対し、実スタート時刻はTCで記入する旨通通告する。TCからStartへ向かった最終車両がStartに到着したら、待機車両は先頭車両から順番にUターンさせ、逆走でTCへ向かわせる。最初の逆走する競技車の前をオフィシャル車が先導する。



④ Startからの競技車がTCに逆走で到着したら、Startから到着したオフィシャル車の乗員が実スタート時刻をTCカードに記入し、1分間隔でクルーに渡し、ALTルートでスタートさせる。



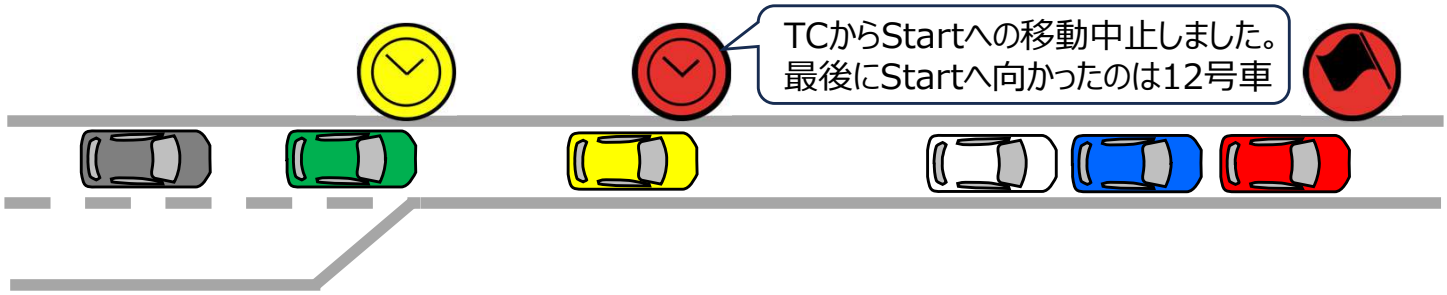
⑤ 全てのStartからの逆走車のALTスタートが終了したら、TCを先頭に待機している車両に対し、Starting listの間隔で実スタート時刻を記入し、記入した時刻にカードを渡しALTスタートさせる。



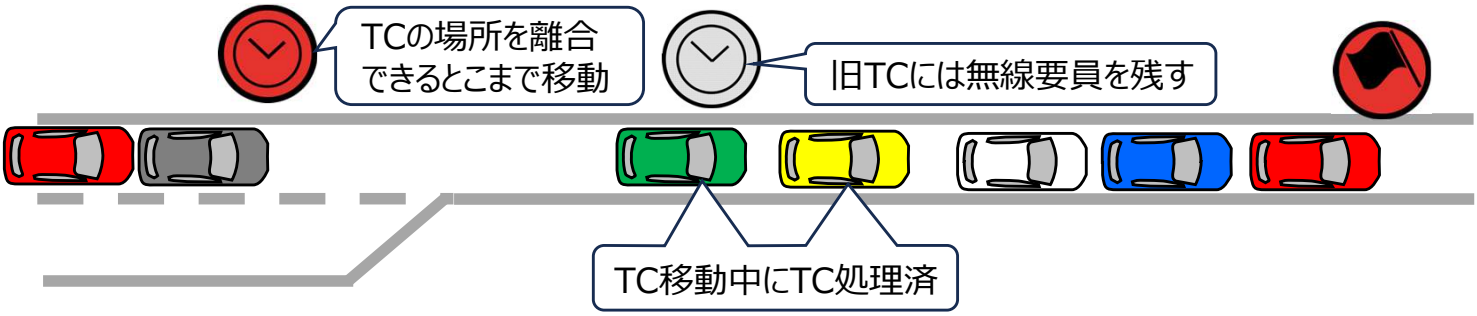
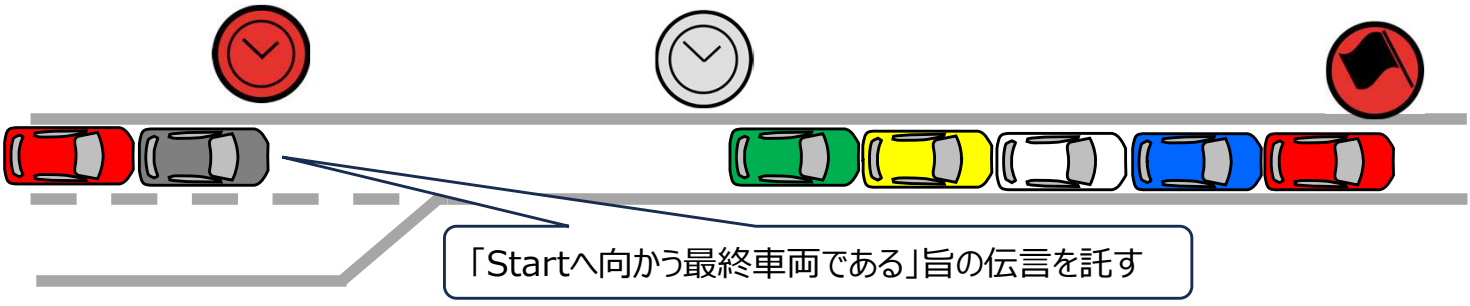
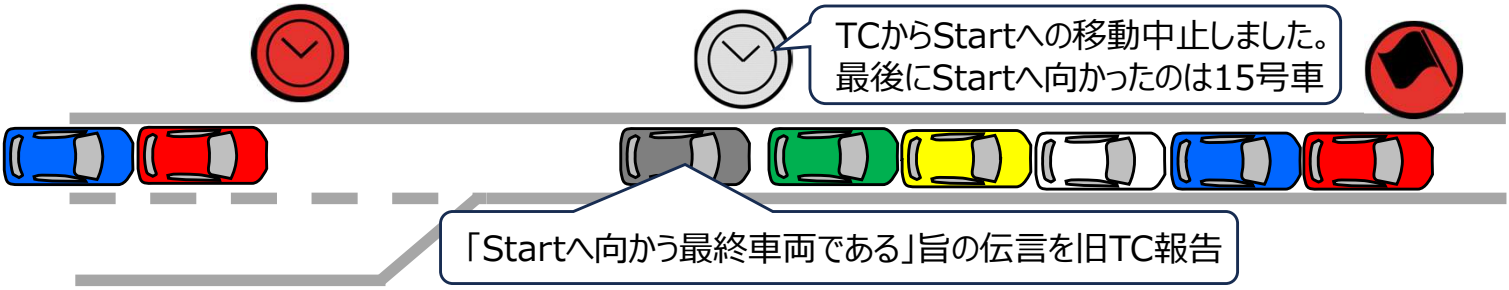
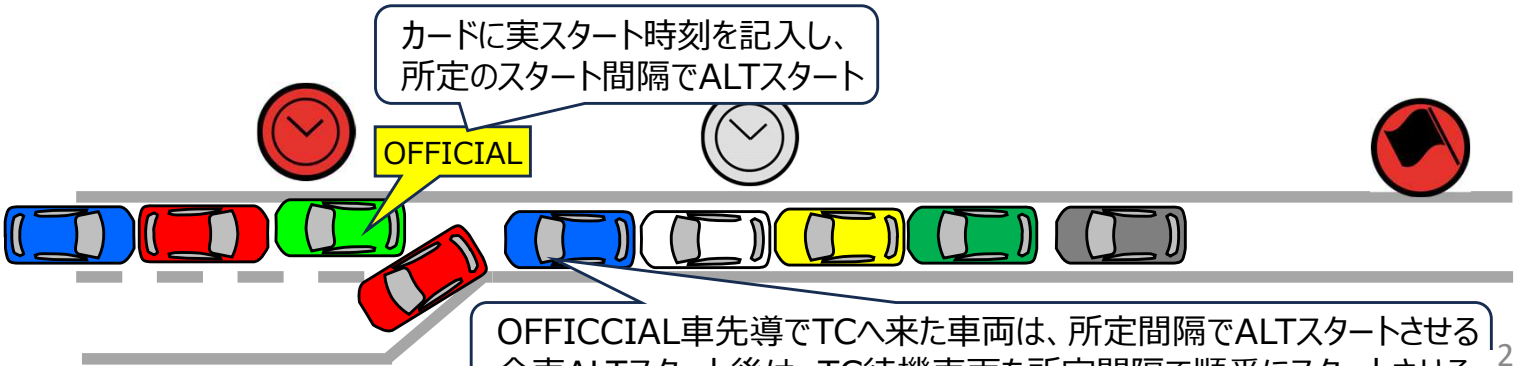
ALT(離合難)

※ 実際の地形等を考慮して、必ず事前に手順を確認すること

① TCの位置を隊列とALT車が離合できるところまで後退する(事前に候補地を検討しておく) 本来のTCの位置には、無線連絡要員を残す



② 移動の途中で対向する競技車は、その位置でTC処理を行う。緊急避難措置として、クルーの申告する時刻(既に経過している場合はその時の時刻)をチェックイン時刻とする。



③ TCの移動が完了し、最初の競技車がTCカードを提出したら、チェックイン手続きを行いStartに移動させる。その際、この車両がStartへ向かう最終車両である旨を本来のTCにいるオフィシャルに報告するようクルーに依頼する。報告を受けたオフィシャルは、無線でStartに最終号車の車番とStartへ向けて出発した時刻を報告する。以降は、前頁の②以降を実施する。